

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年3月31日～2016年4月6日)

平成 28 年(2016 年)4 月8日

H E A D L I N E S

政治

最近の憲法法廷を巡る情勢
 ドウダ大統領, 核セキュリティ・サミットに出席
 下院, 移民・難民問題に関する決議を採択
 ソ連兵士記念碑を巡るポーランド・ロシア間の対立
 外務省, ナゴルノ・カラバフにおける停戦を求める声明を发出
 ヴァシチコフスキ外相, デンマークを訪問

経済

新児童手当の導入
 経済成長予測の上方修正
 ムーディーズも格下げ検討か
 ポーランドとロシアが貨物車両の往来許可に関し合意
 造船業の支援法案を決定
 付加価値税の徴収体制を強化—財務省
 3月の新車登録台数が増加
 欧州委のポーランドの道路安全性評価

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からのお知らせ

西村のんき個展 「MATKA (MOTHER)」

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政 治

内政

最近の憲法法廷を巡る情勢【3月31日～4月6日】

3月31日、クフチンスキ下院議長が憲法法廷を巡る問題を主要議題とする会合を主催し、与党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首及び野党7政党の党首が出席した。カチンスキ党首は、同会合後に、ポーランドに求められていた政治対話が開始された、各党の立場に相違はあるが、本件によってポーランドの国益が損じられてはならない、憲法法廷を巡る問題につき、今後数週間以内に解決に向けた提案が提示される予定である旨述べた。一方、最大野党・市民プラットフォーム(PO)のスヘティナ党首は、今次会合によって事態が大幅に改善することはなかった、参加者はそれぞれの立場に固執しており、トンネルの先の光は未だ見えない状況にある旨述べた。

4日及び5日、ヤーグラン欧州評議会事務局長がポーランドを訪問し、ドゥダ大統領、シドウウォ首相、クフチンスキ下院議長等との間でポーランドの憲法法廷問題につき意見交換した。同事務局長は、ポーランドでは憲法法廷が機能麻痺に陥っており、同法

廷を再び通常通り機能させなければならない旨述べた。

5日、ティーマーマンス欧州委員会副委員長は、ポーランドの憲法法廷問題を巡る国内情勢を確認するためにワルシャワを訪問し、ヴァシチコフスキ外務大臣、ジョプリンスキ憲法法廷長官等と会談を行った。ティーマーマンス副委員長は、憲法法廷問題の解決に向けた対話は、憲法法廷判決を完全に尊重する形で行わなければならない、欧州委員会は対話を全面的に支持する旨述べた。

6日、欧州委員会は、ポーランドの憲法法廷を巡る情勢について協議した。前日にワルシャワを訪問したティーマーマンス欧州委員会副委員長は、ポーランド訪問の結果を報告した。ティーマーマンス副委員長は、本日、欧州委員会は、ポーランドに対する法の支配メカニズムにおいて、新しいステップに関する決定を下さなかったが、このことは同プロセスが凍結されたことを意味する訳ではない旨述べた。

外交・安全保障

ドゥダ大統領、核セキュリティ・サミットに出席【4月1日】

1日、ドゥダ大統領は、ワシントンにて開催された核セキュリティ・サミットに出席した。同大統領は、出席後に、核セキュリティ・サミットのイニシアティブは、国際社会における核安全保障を大きく向上させた、ポーランドは、核及び放射性物質の安全のための主導的な活動を行っている旨述べた。また同大統領は、NATOワルシャワ首脳会合に関し、最近米国が発表した米機甲旅団の中・東欧地域へのローテーション展開計画はポーランドにとって満足できるものである、他方、我々の同盟国は米国のみではなく、他のNATO加盟国に対してもポーランドを含む中・東欧地域の強化のために演習等への積極的な参加を求めていく旨述べた。

下院、移民・難民問題に関する決議を採択【4月1日】

1日、下院は、移民・難民問題に関する決議を賛成267票、反対158票、棄権14票で採択し、その中にてEUが加盟国に難民の自動的な受け入れ分配を行うことへの反対姿勢を明確に示した。

ソ連兵士記念碑を巡るポーランド・ロシア間の対立【3月31日～4月5日】

3月31日、ロシア外務省報道官は、ポーランドにおける赤軍記念碑の取り扱いに関し、ポーランド政府

は赤軍関連の記念碑を大量に撤去する計画を有しており、右行動は二国間関係に深刻な影響をもたらすことになる旨述べた。

1日、ポーランド外務省は、ロシア外務省の発言は不適切であり、ポーランドは1994年の二国間合意に基づき旧ソ連兵墓地の管理等を然るべき形で行っている旨の声明を発出した。

4日、ロシア側は、OSCE及び国連に対し、本件問題への関与を求めた。

5日、ラヴロフ露外相は、ポーランドは第二次世界大戦で殺害されたソ連兵の記憶に対抗する最初の国となった旨述べた。同日、ポーランド外務省は、ラヴロフ外相の発言は不幸なものであり正しくないとの姿勢を示す声明を発出した。

ポーランド国内における旧ソ連関連の記念碑の取り扱いに関し、ポーランド政府は、墓地に併設する記念碑は1994年の二国間合意に基づいて然るべく管理されるが、墓地に併設しない記念碑の扱いは地方自治体はその移動・撤去等を決定できるとの立場を取っている。

外務省、ナゴルノ・カラバフにおける停戦を求める声明を发出【4月3日】

3日、外務省は、アルメニア・アゼルバイジャン間の「凍結された紛争地域」であるナゴルノ・カラバフにおいて激しい戦闘が行われ、多くの死傷者が出たことを受けて、同地域における緊張激化への懸念を示す

と同時に、停戦を求める内容の外務省声明を発売した。

6日、ヴァシチコフスキ外相は、デンマークを訪問してイエンセン外相と会談し、主に二国間関係、欧州関連議題、NATO ワルシャワ首脳会合、EU 東方政策につき意見交換した。

ヴァシチコフスキ外相、デンマークを訪問【4月6日】

経 済

経済政策

新児童手当の導入【1日】

1日、新児童手当「ファミリープラス 500 プログラム」が導入された。シドゥウォ首相はラジオ番組で、金融機関税、商業施設税の導入(予定)等により財源は確保されており、170 億ズロチの支給によりポーランド経済が活性化すると発言。年金受給年齢の引き下げについては下院が現在法案を作業中であり予定通りに行けば秋には採択にかけられるとのこと。

マクロ経済動向・統計

経済成長予測の上方修正【1日】

開発省は、2016 年の経済成長を3.6%から3.8%に上方修正した。2月の失業率、物価上昇率を考慮しての措置の由。

格付け機関ムーディーズは、憲法裁判所を巡る問題が解決されないために外国投資家にとってのポーランドの魅力が損なわれており、ポーランドの格付けにも影響する可能性があるとした。同社が次に格付けを発表するのは5月13日。

ムーディーズも格下げ検討か【4日】

ポーランド産業動向

ポーランドとロシアが貨物車両の往来許可に関し合意【1日】

ポーランドとロシアは、貨物車両の往来に関し新たな許可を発給することで合意した。昨年ロシアでの法改正により、両国間の貨物車両の往来に関する許可要件が変更となったことから、協議が行われていた。許可証の発給件数の合意を巡り調整が難航したが、最近の市場規模を踏まえた合意に達したという。

運用を担う特別会社を設立し、VAT不正への罰則を強化する法案を決定した。年間のVATの徴収額と見込み額との差が数百億ズロチに上っている。

3月の新車登録台数が増加【5日】

自動車産業専門調査会社 Samar によると、2016年3月の新車(乗用車及び商用車)の登録台数は、前年同月比16.2%増となる44,571台であった。前月比では16.4%の増加であった。前月同様に法人による登録が寄与したものだという。

造船業の支援法案を決定【4日】

政府は造船業の支援法案を決定した。税制優遇措置や、経済特別区の対象への造船所の追加、EU基金の対象とすることを盛り込んでいる。政府は2017年1月の施行を目指している。

欧州委のポーランドの道路安全性評価【1日】

欧州委員会の報告書によれば、ポーランドの道路状況はこの5年間で改善しているが、まだEU基準からはほど遠いとのこと。報告書では、ポーランド交通事故死者数は百万人あたり77人で、これは百万人あたり99人のブルガリア・ルーマニアにつぐ危険度とのこと。

付加価値税の徴収体制を強化-財務省【5日】

政府は、付加価値税(VAT)の徴収漏れが多額に上ることに対応するため、ITシステムの強化とその

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】現代日本の工芸展【3月1日(火)～5月15日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、国際交流基金巡回展「現代日本の工芸展」が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/64>

【開催中】日本人形展【3月20日(日)～6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催されます。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/>

【予定】百射会【4月9日(土)】

ミシャドウォ市にて、ポーランド弓道連盟主催による『百射会』が開催されます。

開催場所：マゾフシェ県、ミシャドウォ市、ul. Kwiatowa 28

詳細：<http://kyudo.pl>

【予定】第10回ウッチ大学日本文化デー【4月16日(土)～17日(日)】

ウッチ市にて、八雲琴クラブ協会主催による『第10回ウッチ大学日本文化デー』が開催されます。日本の伝統と現代文化の紹介（歌舞伎、コスプレ、武道、陶器など）が予定されています。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、ul. Rewolucji 1905 r. 39/41

詳細：<http://yakumo-goto.pl/index.html>

【予定】全ポーランド誠道空手選手権大会【4月16日(土)】

カルヴァリア・ゼブジドフスカ市にて、カルヴァリアスポーツクラブ「誠道塾空手」主催による『全ポーランド誠道空手選手権大会』が開催されます。

開催場所：マウオポルスカ県、カルヴァリア・ゼブジドフスカ市、ul. Mickiewicza 14

詳細：<https://www.facebook.com/seidokarateKalwaria>

【予定】ヨーロッパ相撲選手権 大会【4月21日(木)～24日(日)】

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『ヨーロッパ相撲選手権大会』が開催されます。

開催場所: ヴィエルコポルスキ県, クロトシン市

詳細: <http://sumo.org.pl>

【予定】第18回ワルシャワ経済大学日本デー【4月19日(火)～21日(木)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワ経済大学日本経済文化研究会主催による『第18回日本デー』が開催されます。日本経済, 日本・ポーランド経済関係に関する講演の他, 日本文化に関するワークショップが予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ経済大学, ul. Niepodległości 162

詳細: <https://sknjaponia.wordpress.com/>

読者からのお知らせ

【予定】西村のんき個展 「MATKA (MOTHER)」

ポーランド、ポズナン GALERIA U JEZUITOW (ul. Dominikańska 8)

4月21日(木)～27日(水)

異なる文化を肌で感じながら描いた作品によるインスタレーションです。ポズナンの街で出会ったマリア像の母性を見つめ、生命と宇宙を結ぶパワーを歴史的建築空間の教会ギャラリーで表現します。

<https://www.facebook.com/events/1016771045079443/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)